

コラム

みやちゃんご一緒体験記

Vol.32

新しい日常を生きる⑪ ～互いを認めあって力にする～

長く女性として生きていますので、ジェンダー不平等について悔しい思いをしたことは幾度かありますが、女性であることに不満はありません。しかしコロナ禍の現在、失業者の7割が女性だったり、女性の自殺率が高くなったり、DVや虐待率が高くなっている「コロナ禍のジェンダー」問題が浮き彫りになっていることを思うと、私自身は不利益を被ってはいませんが女性に生まれたことの哀しみを感じてしまいます。ジェンダー問題が叫ばれて久しいのになかなか解決とはいえないからです……。

A子さんは、満員電車の中で痴漢にあい、買ったばかりの洋服を汚い体液で汚されました。犯人とおぼしき男性には逃げられましたが容姿を覚えていたためすぐに近くの警察署にかけこみ、刑事数人に被害を訴えました。彼等は、最初は親身になって聞いてくれていましたが、その中の一人が、「スカートがそんなに汚されるまで気がつかないなんて不自然です。そもそも短いスカートをきているあなたに問題があったのではないですか」と発言。「怒りをとおりにして悲しくなった」と話してくれました。

共働きで子どもはしばらく作らないと夫婦間で決めていたC子さんは、予想外に妊娠したかもしれないと思いで産婦人科を受診しました。結局、妊娠はしていなかったようですが、診察した医師に、「妊娠・出産は遅くなるほど大変だから、子どもを作る気があるなら早くしなきゃダメですよ。それが女の“役割”なのだから」と言われ気分が悪くなったといいます。一般論と思うものの、初めてかかった医師の口からでた「ダメ」「役割」という言葉に違和感を覚えたそうです。自分たち夫婦は話し合いを重ねて決めているのに、自分の価値観をおしつける。出産の現場にいるからといって、他者（女性）の産む選択にまで意見する権利があるのだろうか……。

これらはかつて取材した女性たちの体験談ですが、警察と医師という市民の生活や安全を守る強い立場にいる男性たちが、いかに無自覚に差別や偏見を行っているかがわかりますよね。

差別や偏見はあらゆる場面に蔓延し、さらされるのは女性達だけではなく病気や障害をもった方々、人種、立

場の弱い高齢者、浮浪者なども対象となっています。

4月21日開催のwebセミナー(HAP主宰)「薬剤師・薬学生向けのジェンダー・ダイバーシティのセミナー」では、「性とジェンダー」「医療現場におけるジェンダー・セクシャリティーへの配慮」「ダイバーシティ(多様性)をするためにD&I」というテーマで、講師の坂井雄貴先生がお話されました。セクシャルマイノリティー(性的少数者)について正しい理解をえられるように、差別や偏見によって彼等が直面する健康格差や医療関係での困難さについて詳しく説明されました。

性的少数者(セクシャルマイノリティー)を表す言葉のひとつとして使用されるLGBTとは、Lesbian(レズビアン/女性の同性愛者)、Gay(ゲイ/男性の同性愛者)、Bisexual(バイセクシャル/同性愛者)、Transgender(トランスジェンダー/「身体の性」と「心の性」が一致しないため「身体の性」に違和感を持つ人)の頭文字をとったものです。日本では人口の約7%がLGBTといわれています。

女性であるというだけで「女のくせに〜〜」と言われる日本だけに、彼等はカミングアウトすることで被る差別や偏見をおそれ、当然ですが生きづらさを覚えています。多様な性の在り方を認め合うことで世界はもっと生きやすくなるはず、そういう社会の実現をめざしたいものです。誰でも等しく安全な医療を受ける権利があります。今回の講座では、彼等が医療をうける上での困難さ・医療側の心得について考えました。

特に、「クリニカルバイアス」を認識する必要性という点が印象的でした。医療者個人の抱える嫌悪感が患者の診療内容に影響を与えてしまうという現実……。助けを求めてきているのに、です。患者と接する全てのスタッフの教育が必要なのは言うまでもありません。

同じように、望まぬ妊娠を回避するために緊急避妊ピルを求めているのに、病院や薬局で冷遇されたらどうでしょうか……。居心地のよい社会の実現には、一人一人が差別に無自覚になっていないかどうか問い続けることが大事ですね。

今年の日本アカデミー賞は、「ミッドナイトスワン」が作品賞を受賞し、同作品で主演を務めた草彅剛さんが最優秀主演男優賞を受賞しましたが、ここでは草彅さんはトランスジェンダーという設定でした。性的少数者を扱った国内外の映画やテレビドラマなどは数多く製作されて、そういう役柄を演じてきた役者たちはそれなりの評価を得ているようですが、現実社会での受け皿は十分ではないようです。

また、パンデミックにあっては排外主義が蔓延する傾向が顕著で、(特に)アメリカにおけるアジア系に対する人種差別の映像はあまりにも衝撃的です。また、リスクな現場に勤務している医療従事者もいわれなき差別をうけるという情けない状態となっています。

人権問題になると力んでしまう私。キーボードをたたく音が強くなったと一息いれたところ、米アカデミー賞授賞式速報がはいってきて、アジア系女性2人が監督賞と助演女優賞を受賞したという吉報!人種や性別の多様性を尊重するアカデミー賞の選択に拍手をした次第です。早く、劇場で受賞作品をみたいな〜!

★[「ミッドナイトスワン」公式サイト](#)

